

## 工場全体と個別機能の両方を見据えた設備作り

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリー技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



独自の技術を活かした主力のアルコール蒸留装置

### 【業務内容】プラントや製造設備の設計、製作から工事まで行う

化学業界や医薬、二次電池、液化ガス、塗料、食品、環境関連など多様なプラント、製造設備を手がける。「中でも蒸留関連設備では国内トップクラスの知名度を誇る」と高橋正一社長は胸を張る。設計、製作に加えて据付配管周辺工事および保守点検などのアフターサービスまで一貫して自社で行う。近年は植物系原料など再生可能物質から化学製品を作るバイオリファイナリー用のプラントなど新分野にも対応。「歴史の中で技術を培ってきたからこそ時代の流れに対応できる」と既存の精製や発酵などの技術に応用し、新たなニーズを獲得している。

### 【強み】蓄積した技術で多様な要望を叶える

「プラント全体と個々の機器の両面から考えた工場設計を行う」と高橋社長は自社の業務を語る。プラント設計のポイントは、原料をいかに処理して製品とするか。ユーズから原材料の組成や製品の組成を聞き取り、プロセスを考えて設計していく。原料の無駄やエネルギーの無駄、作業者の手間を減らすことも重要。顧客の要望を聞きながら、自社のテスト装置で理論値と実際の挙動とのずれを検証し、最良の解決策を提案する。エンジニアリング会社と違い各工程の機器も自社製造のため、特殊な要望にも対応できる詳細な設計力があるのも強みだ。

### 【海外展開】タイとベトナムに拠点、海外で従来型の技術を生かす

平成24年にタイとベトナムに現地法人を設立し、国内と同様に多様な分野の受注を請け負っている。タイは日系企業中心、

ベトナムでは日系企業に加えて外資系企業を中心に新工場設置に携わっている。高橋社長は「かつて日本の発展の過程で売れた従来型の技術が生かせる余地がある」と海外市場開拓のメリットを語る。協力工場の指導や納期管理がしやすいよう、現地に拠点を置いて指揮を執る。

平成28年4月期の売上高は国内60億円に対し海外6億円だが、5年後をめどに海外売上高を国内売上高の60%の水準まで引き上げ、計100億円の年間売り上げを目指す。

### 【今後の展望】海外の機能を強化し国際トライアングルを確立

海外の受注拡大に向け、タイとベトナムの機能強化を行う。「国際トライアングル」として本社との分業体制の確立に取り組み、設計・製造コストの引き下げを図る。タイは設計センターとして日本に続く技術拠点の機能を持たせ、平成28年中に現地技術者10名を確保。ベトナムにはホーチミン市近隣に工場を設置し、平成30年の稼働を目指す。タイとベトナム間での連携を進めるほか、3国間で最適分業を進める。高付加価値の案件は日本が手がけ、現地向け中心にコスト重視のものはすべて海外で対応する体制を完成させる。技術、コスト両面の競争力を高める。



溶剤回収再生装置も手がける



工場作業を通し技術伝承も進める

## 当社の歴史



昭和13年に化学機械・水管式ボイラーの製造・販売のために設立しました。昭和22年以降は独自のアルコール蒸留技術を中心に70年以上にわたり技術を蓄積してきました。化学・食品・薬品・産業機械など幅広い顧客に対応。平成24年にはタイとベトナムに子会社を設置し、海外市場の開拓にも努めています。

取締役社長 高橋 正一さん

<http://www.nikkaki.co.jp/>

全国27 ISO 9001

### 主な事業内容

化学機械プラント、超低温液化ガス機器の設計、製作、建設工事

### 主な取引先(納入先)

扶桑化学工業(株)、東京濾器(株)、(株)カネカ、第一工業製薬(株)ネスレ日本(株)、ハリマ化成(株)など

### ●住所

〒532-0031  
大阪市淀川区  
加島4-6-23

- TEL 06-6308-3881
- FAX 06-6306-2384
- 創業 昭和14年5月
- 設立 昭和13年10月
- 資本金 2億7,500万円
- 従業員 150名